

春の低山大縦走「飯能アルプス」を行く… 大高山・天覚山

実施日 2013年3月23日(土)
天候 晴れのち曇り
リーダー 遠井 謙策
参加者 服部美千代、一柳昭、涌井 良好、遠勝恵小、鈴木恵美子、小村井 明、石附智江、渋谷京子、井 謙策、伊藤久雄、石原 正、斉藤伸二郎、古川美子、宮下良之、徳山敬子、名秀鋭、林みつ枝 計16名
費用 交通費 1,090円(池袋起算)
タイム 吾野駅(9:05)前坂(9:48)大高山(10:36-10:45)天覚山(12:05-12:45昼食)東峠(13:20)久須美坂(14:35)武蔵横手駅(15:10)

Jリーグがキックオフ、選抜高校野球が始まり、間もなくプロ野球も開幕する。本格的スポーツシーズンの始まりだ。都会では早くも桜が満開。あんなに寒かった冬はあっという間に何処かへ去り行き、今将に春爛漫だ。

経済界に目をやれば、アベノミクスによる経済活性化がわが世の春を謳っている。これは果たして本物なのだろうか？一方、東北の大災害の傷跡はまだ癒えておらず、原発の恐怖も依然として続いている。我々はこれらのことから決して目を逸らしてはいけない。

そんな背景での彼岸の中、今週の彼こぶし会は奥武蔵西武線沿線の地味めな山が舞台。どんな思い出が作れたのだろうか。

線路をくぐり吾野湧水で口を漱いで墓地横からいざ出発。

結構な急登の密集した杉林の九十九折れを行く。今朝車中から見た、あの湧き上がるような雲霞の如き花粉を思い起こしてしまう。一汗掻いた頃前坂分岐へ着く。飴玉を口にして尾根を辿っていくと



やがて林道に出る。横断して再び単調な山道を歩く。急な岩の道や巻き道、木の根っこ道を通り

て「大高山」山頂へ。新しい大石の道。新標と南西方向に若干の展望。栄養補給の集合写真で次の目的地へ向う。尾根道歩きだが



豊富な樹木に遮られ、前後左右相変わらず展望は無い。踏み跡は明瞭だが小さなアップダウンが続きなかなか手強い。

植生が変わった。杉も大木となり三つ又四つ又の太い幹の落葉樹も混在し始め。そこそこに咲き残っているヤブ椿を愛でながら露岩の多いヤセ尾根を張る。お腹が空き少々へばってきた頃、タイミング良く「天覚山」に着く。丸太のベンチがあり、ゆっくりと昼食を取るこのとが出来た。そばには薄黄色の馬酔木の花が咲いている。遠くには西武ドームや大岳山をはじめとす奥多摩の山々



がくつきりと見えている。しばしの歓談を楽しんだが、このまま下るのは勿体無い。朝の約束通り足を伸ばすことに。大きな鉄塔を二つ越え、東峠からカマド山分岐を経て久須美坂へ名門、ゴルフ場が見えてくる。疲労体を覚えてきつさを増し、益々繰り返しのアップダウンに小さな悲鳴を上げ始める。

もう少しもう少し！何度騙したことだろう。それでもいつしか笑顔で武蔵横手駅にゴールしていた。

振り返ってみると、本山行は予想を超えりハードなコースだったようだ。やはりストックで単純な山歩きが好きなのは向いかもしれない。下界で咲き誇る明るい花の楽園とは違って、殺風景な無彩色の山旅でもあった。でも下山途中[二ホシ]カモシカらしき小獣(本当?)が姿を見せくれたという思いがけない出合いもあり、気温を含めた天気も絶好で、それなりに充実した一日ではなかったかと勝手に満足している。気が向いたら又お付き合い下さい。

(記・遠井 謙策)
(写真提供・涌井 良明)